

JAAC だより

将来の新しい留学の形とは

— 大学間の単位互換を目指す —

前号までの4回にわたって「留学とグローバル化する教育の場」と題して、グローバル化が進む社会において、日本の大学システムや高校教育のあり方がどのように変わろうとしているのかについて、その一部を例に挙げながら皆さんと考えてまいりました。これらはいずれも、日本の大学と海外大学との交流促進を図り、海外の学生による日本への留学を促すことや、日本の学生が海外の大学へ留学し易くなるようなシステムの構築を図るものでした。今号からは、少し違った観点から教育のグローバル化について皆さんと考えてまいりたいと思います。

「留学」ということばはもはや一般化していることばであり、私たちの周りで「留学する」という人がいても、これと言った驚きはあまり感じませんね。JAAC生の皆さんにとっては「留学している人」そのものなのですから、「留学」そのものが身近に感じるというよりも、現在の皆さんの境遇そのものが「留学」と言えるでしょう。JAAC生のように、日本の大学には行かずに、アメリカの大学を卒業することを志す「留学」もあれば、日本の大学に通いながら、期間の長短に限らず一定の期間を海外の大学で過ごす「留学」の形もあるわけです。後者の場合、留学先の大学との単位互換制度により、留学中に得た単位をそのまま日本の大学の履修単位に置き換えることも可能になってきました。このように、年を追うごとに日本と海外の大学との間における単位互換制度が推進されてきているように思われます。単位互換制度は日本と海外の大学との間だけで行われているものではなく、日本の大学間でも活発に行われているものです。

大学間における単位互換制度とは、当該大学間における協定により、学生が協定締結校である他校の授業を履修した際に、その単位を学生が帰属する大学での履修単位として認めることができるものです。この制度をより活発化し、身近なものにするために一部の地域内にある大学がコンソーシアム（協会・連合）を形成して、同コンソーシアム大学間の学生の交流を促進させている例もあります。また、地域を限定せずに、個々の大学が独自に日本国内の大学との単位互換協定締結を推進したり、それらの大学が集まり、より大きな大学コンソーシアムを形成する動きも見られます。

しかしながら、前述で言われている「単位互換制度」と、アメリカの大学で意味するところの「単位互換制度」とは、それらが意味するところが少々異なるものです。前者では、学生が一時的に単位互換協定校である他校の単位を取得し、それらを自らが在籍する学校の取得単位として認定されることであるのに対して、後者のアメリカの場合は、前者の制度に加えて、学生が他校へ転校する際に、在籍大学で取得した単位の全て、或は、一部が転校先の学校で認定されることも、この「単位互換制度」には含まれていることです。この意味合いから、アメリカの「単位互換」とは、「単位の互換と移動」と考える方がより現状に即しているように思われます。アメリカの大学に留学されているJAAC生の皆さんであれば、「Credit Transfer：単位の移動」ということばを良く耳にしていって、その意味を良く理解されていると思います。

「単位互換」と「単位認定」の制度を整備し、大学間の教育交流を促進する例としてEU（欧州連合）の「Erasmus Mundus：エラスムス ムンドゥス」計画が挙げられます。ErasmusはThe European Community Action Scheme for the Mobility of University Studentsの頭文字を取ったもので、15世紀から16世紀にかけて活躍したオランダの人文主義の学者の名前から由来しているものです。この意味としては「EU大学生交流活動計画」とも言うべきでしょうか。Mundusはラテン語で、英語のMundane（現世の）に相当するものです。Erasmus計画はもともとヨーロッパの学生たちに対して、自国以外のヨーロッパ各国で学ぶ機会を提供するという計画で、学生はもとより教員の教育交流プログラムとして成功をおさめたものでした。今日、Erasmus Mundusとして、EU以外の学生たちに対してEUで学ぶ機会をより多く提供することを目的として推進されている活動です。このエラスムス計画の成功を見ながら、日本、中国、韓国の3か国によって推進しようとしている教育交流計画が「CAMPUS Asia：キャンパス アジア」構想と言われている、「日中韓3か国大学間交流・連携推進」計画です。この計画は安倍元総理の時代に提唱された「アジア・ゲートウェイ戦略」を受けて、その後の日中韓サミットで協議が重ねられ、2011年4月に東京で第1回日中韓大学間交流・連携推進会議が行われて、いよいよ「CAMPUS Asia：キャンパス アジア」構想が本格的にスタートしました。この構想計画については、次号でされにお話をさせていただきます。（次号に続く）（照井）

今年、卒業を迎える JAAC 生の皆さんへ

－ “却下照顧” の心を忘れずに －

日本ではゴールデンウィークも過ぎ、桜前線が一応に日本列島の南から北に移り、ほぼ日本列島の全域で桜の開花が終えました。いよいよ、アメリカの大学の卒業シーズンがやってきました。今学期終了後に卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校を卒業してアメリカに渡り、以来、長い年月を重ねて迎えた卒業の日を、皆さんとご家族の方々はどうなにか待ち望んでいたことでしょうか。すでに就職が決まっている方、そして、卒業後に帰国して本格的な就職活動をされる方、それぞれの思いと希望と、夢を持って次のステージに向かって歩み始めてください。皆さんが経験したアメリカでの留学生活は、今後の皆さんの人生において掛けがえのない思い出と共に、貴重な人生経験になると確信しています。

皆さんは、留学という、しかも、アメリカの大学を卒業してきたという、一つの大きな目標を達成してきました。それは、皆さん一人ひとりが自ら掴んだ成功であり、そして、ある意味では勝利でもあります。そのことが皆さんにとって大きな自信に繋がっていることと思います。しかし、社会に出てみると、留学した身であるが故に不得手で、ディスアドバンテージ（不利な点や立場）なことが多々あることに気づかされることがあります。自らの英語力や、留学で得た教訓を過信して有頂天になるのではなく、自分自身のありのままの姿を見つめられる冷静な気持ちと心を持ち続けてください。

鎌倉時代の禅僧の教えで、「却下照顧（きゃっか・しょうこ）」ということばがあります。「却下」とは足元という意味で、「照顧」とは顧みることを意味します。つまり、「足元を顧みなさい」という意味で、『もう一度、自分自身の姿を顧みて、初心にかえりなさい』と解釈するものです。皆さんは無事に留学を終えて、これから社会人としての新たな人生を歩き始めます。社会で経験することは何事も新しく、戸惑いも多いものです。さらに、人間関係の難しさや社会の不条理と言ったことも経験することでしょう。そんなとき、他人を悪く言うことばかりを覚えるのではなく、自らの未熟で至らない点を素直に視（み）ることができる冷静で、謙虚な心を持つことも大切です。どうか、この「却下照顧」ということばを覚えておいてください。卒業を迎え、新社会人となられる皆さんに、僭越ながらこのことばを贈ります。ご卒業、誠におめでとうございます。（照井）

【編集後記】4年という時の流れは以外に速いものだ。ついこの間、北京でオリンピックが開催されたと思ったら、あと2ヶ月ほどでロンドンオリンピックが開催される。参加種目の代表選手とチームが次々に決まってくる。国民の期待を一身に背負う重圧とプレッシャーは計り知れないものだろう●学生の5月病、社会人の6月病と言われている。今年も例年同様、新しい環境に適応できなかった大勢の新社会人がせつかく手にした就職先から去って行った。もし、適応障害と思うふしがあれば、早めに専門医の診察を受けるべきだと思う。辛い気持ちは本人にしかわからないことなのだから▼金環日食が日本で見られた。今度は何年後になるのかを考えていたら、宇宙の大きさと人間の小ささを改めて感じた。日食とは日（太陽）を食うという意味らしい。英語ではeclipseと言ひ、語源的には消滅、衰退という意味があるらしい。日（太陽）の消滅・衰退。なるほど・▼今夏は電力が不足するらしい。だからと言って原発を是とする短絡的な考えはどうかと思う。原発を稼働している日本はいつでも原爆を作ることができるということだ。唯一の被爆国が原爆を作れるとは・。これも他国の武力への抑止力なのか◆東日本大震災の被災地では少しずつ復興の兆しが見えてきた。しかし、瓦礫の処理問題はまだまだ難航している。なんとかならないのか・。? ■相変わらず円高が続いている。日本の格付けも一段階下がった。大丈夫なのか、日本は?（照井）

Let me remind you . . .

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

◆JAAC 生の皆さんへ： 今夏、帰省される予定のある方は早めに航空券の予約を済ませましょう。7月から8月にかけて開催されるロンドンオリンピックの影響で、夏休みの時期には航空券が思い通りの日程で取れないことが予想されます。特に、日本からアメリカに戻る日の日程には余裕をもって予約をしましょう。

▲留学ビザ (F-1) の再確認： 今年5年間有効の留学ビザ (F-1) の有効期限が切れる方は、今年の夏休みに帰省して留学ビザの更新手続きを行う必要があります。各自の留学ビザの有効期限を再確認しておきましょう。

■就職活動をする JAAC 生の皆さんへ： 希望する企業のことをできるだけ調べて就職面接に臨みましょう。また、企業側に質問したいことも事前に整理しておきましょう。常に海外大学卒業生（見込み者）を対象としたジョブフェア等の情報には必ず目を通すように心がけましょう。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

